

# 令和4年度 市民と市長の対話集会

## 市長と語ろう！ほっとミーティング

### 開催結果報告書

- 1 開催日時 令和4年（2022年）6月24日（金）  
午前10時から正午まで
- 2 開催場所 市役所本館410会議室
- 3 参加者 平塚市自治会連絡協議会 東ブロック  
連合自治会長7人
- 4 テーマ ポストコロナにおける地域活動について

## 5 市長あいさつ

おはようございます。本日は大変お忙しい中、市役所にお越しいただきまして、ありがとうございます。新型コロナの中で、自治会連合会の会長様には地域づくりに御尽力をいただいています。今回、コロナが落ち着いてきた中で、地域が動き始める時期になってきたと思います。そういう中で、皆様にお声掛けをしました。4ブロックそれぞれの地域の活動のお話を伺い、今後、市がどういう形で、応援したら良いか、率直な御意見を伺うという趣旨で、お集まりいただきました。令和2年11月にも、コロナ禍で地域活動を進めることに対する御苦勞や課題等について「ウィズコロナ時代の地域活動とは」というテーマで、御意見を伺いました。それを基に広報ひらつかで昨年と今年、2回にわたって、自治会活動の特集を組みました。今回、自治会活動が再開できる状況になりつつある中で、再度お話を伺いたいと思います。

さて、平塚市内の新型コロナウイルス感染症の発生状況ですが、第5波で一番多かった昨年の8月はひと月あたり1,090人でした。11月に0人になりましたが、オミクロン株による第6波が来ました。今年1月に571人、2月が最多で約3,500人、3月に約2,400人、4月に約1,900人。そして、5月に入って約1,200人と徐々に落ち着いてきた状況です。これまで2年半の合計で、1万3,099人が感染され、残念ながら亡くなった方は30人です。ここ6日間連続で東京と神奈川県では、前の週の同じ曜日から少し増えています。まだまだ安心してはいけない状況ですが、コロナは避けては通れませんので、ウィズコロナの中で安心安全対策を行った上で、地域の活動を始めていただきたいと思います。令和4年度当初予算では、地域活動再開円滑化交付金等を予算化していますので、ぜひ活用していただきたいと思います。

## 6 主なミーティングの内容

### 【司会】

まず初めに自己紹介も兼ねて各地域の現状などをお聞かせください。

### 【参加者】

ほんとミーティング初参加です。今年から連合会長を務めています。前会長からの引き継ぎ通りやりたいのですが、現状ではなかなか進みません。例えば夏祭りでも、当地区はかなり広いため、1か所に集まって開催すると密になります。また農家は繁忙期になるため、参加が難しく、準備が大変です。さらに高齢化率も大変高いです。重症リスクの高い高齢者とワクチン接種が進んでい

ない子どもが多く、単位自治会で1か所、または2か所だけでやるとそこに、集中してしまいますので中止にする方向で進めています。秋になればもっと落ち着くと期待していますので、神社のお祭りはこれから準備をしていく予定です。七夕では今年は織り姫に来ていただくことになりましたが、これもやはり人が集まり、密が発生してしまうのでセレモニーのみでの企画としています。感染者数の変化に一喜一憂しながら、進めているところです。

#### 【参加者】

当地区は農村部で、ほとんどが市街化調整区域です。現在平塚市で最も高齢化率が高く、37%ぐらいです。平塚市、神奈川県、NPOの協力を得て、神奈川県の補助採択事業として2年前から「地域の活性化」に取り組んでいます。いくら自治会で取り組んでも、やはり行政に抜本的な取組をしてもらわないと、地域の元気を取り戻すことは非常に困難であると痛切に感じています。今年度で神奈川県の支援が終わってしまいますので、今後どのように進めていくのか、果たして自立して持続していくことができるのか、難しい課題です。土地の活用にも制限が多く、市の条例や都市計画法を根本から改めないと、発展はなく、衰退の一途をたどるしかないと思います。市長にはこの事業に関心を持っていただき、お力添えもいただいているのですが、遅々として進まないのが現状です。会長として微力ですが、地域の方々の御理解を得ながら、取り組んでいきたいと思っています。

#### 【参加者】

今年度から連合会長を務めています。コロナが収まってきたので、活動再開について、皆さんに意見を聞いたところ、再開をしたいという希望が非常に多かったです。ただ一方で高齢者や低学年の子どもたちについては、心配される意見も聞かれました。当地区でも盆踊り開催に向けて、関係15団体の代表者を集めて、会議を行いました。昨年は中止になりましたが、今年は9割ぐらいの団体が開催希望でした。ただ対策についても十分検討していただきたいということで、来月早々に結論を出そうと考えています。先ほど市長さんからお話がありました地域活動再開円滑化交付金の申請の締切が5月中と早かったため、手続きが間に合いませんでした。活動を再開させる際には、コロナ対策にしっかり取り組まないと、皆さんが安心して、活動に参加をしていただくことは難しいと思っています。

#### 【参加者】

コロナによってこの2年間自治会が全く機能しなくなっていまい、ほとんどの会員さんは家に閉じこもりがちになり、また高齢化が進んでいます。自治会活動の再開タイミングを役員とともに考えていました。活動を再開しなければ、地域の回復はないだろうと思っています。

次にごみ問題、不法投棄問題には苦情など多くの批判があります。まず不法投棄をなくすにはどうしたら良いかと話をする中で、収集日カレンダーを自治会の回覧で配布していますが、非会員の方には配られていません。分別方法を知らない人は、何も分別しないで排出しますが、収集車は回収してくれません。取り残しがあると、カラスによって散乱してしまい、自治会役員がすぐ通報を受けて清掃しに行く、その繰り返しです。収集業務課に電話で連絡すると迅速に対応してくれます。あとごみ減量化推進員会、また美化推進委員会を管轄している環境政策課がより積極的に、啓蒙運動をアピールしてやっていく必要があると思いました。広報紙により、市民に周知徹底して欲しいです。

また、公園の脇に設置してある集積所がごみの山になってしまうため、監視カメラを設置しようとしたところ、公園には設置できない、という一言で断られてしまいました。困った時に手を差し伸べる姿勢があってほしいと思いました。

最後に、公民館長、民生委員児童委員など多くの委嘱委員の人探しについて、自治会に任せるばかりでなく、専門家である市の担当者が積極的に関与してほしいと思っています。

#### 【参加者】

当地区も、他地区と同様の課題を抱えています。行事開催については、今年は会員に喜んでもらえるイベントをやろうということで、実行委員会を立ち上げ進めています。ただ本当にできるのか不安もあります。

他にも今年は民生委員さんの改選の時期であり、単位自治会の役員改選の時期でもあり、一つ一つ、解決をしていかなければいけないと思います。

#### 【参加者】

当地区はコロナ前年の地区レクも中止となったため、既に3年間大きな行事は、できていません。コロナも落ち着いてきましたので、今年は実施をする方向で考えています。ただし、地域の人たちも3年間行事の運営に関わっていませんので、規模を縮小したところから、計画をしています。

また、役員のなり手不足も深刻です。ある単位自治会では1人で三役を受け持っています。役員の高齢化も進んでいるため、自治会が維持できないような状況が今後生まれてくる可能性もあると危惧しています。

#### 【参加者】

コロナによる自治会の被害でいうと、行事ができない、祭りができないとありますが、一番被害を受けているのは、子どもたちだと思います。

私は去年10月から毎朝、通学路で旗振りをしています。子どもたちを見ると、今年の4月ぐらいから元気がないと感じています。自治会が、もう少し子どもに目線を当てた活動やイベントができないかと考えています。隣の地

区で今年7月に「渋田川フェスタ」として子どもだけのために行事を開催すると聞き、素晴らしいと思いました。

また、地域の若いお母さんから、家に居場所が無い様子のお子さんがいると聞いたことがあります。地区内に子ども食堂が2か所あり、ほかにも公民館も利用できることを伝えると、初めて聞いたという反応がありました。自治会は、困窮問題に直接関わることはできませんが、児童委員や青少年指導員の人選に関わっていますし、学校との繋がりも強いです。もう少し子どもの目線に合わせた活動のあり方が課題になっていると考えています。

#### 【司会】

行事の開催や市からのガイドラインについて、意見交換を進めていきたいと思います。先ほど渋田川フェスタについて、お話がありましたが、もう少し詳しく教えてください。

#### 【参加者】

当地区も隣に位置するため協力しています。会場は工場団地の空き地で、飲食は無しですが、ヨーヨー釣りなどお子さんが喜ぶような模擬店を出店し、7時半頃からは花火を打ち上げますが、花火は自宅から見もらうようにすると聞いています。

#### 【参加者】

先日の平自連の定例会では、今年の盆踊りは全体の3分の2以上の自治会で開催する予定と聞きました。当地区も開催に向けて関係者と協議を進めたり、公民館での練習会を予定したり、着々と準備を進めています。例年に比べると規模は縮小していますが、これまでのブランクを埋めて今後も存続していけるように頑張っていますので、市にも御協力をお願いしたいと思います。

#### 【参加者】

当地区でも、盆踊りについて検討中ですが、賛否両論あります。私は地域の伝統行事を維持して残していきたいと思っています。そのためには、従来とは違った考え方や方針を導入しないと、地域の皆さんが納得しないと感じています。多くの方に賛同いただける条件作りには、コミュニケーションが大事だと心掛けています。

#### 【参加者】

当地区のお祭りは中止になりましたが、それ以外の行事は大体再開しています。今年も5月に鯉のぼりまつりを開催しました。ただ飲食を伴うものは極力控えて活動しています。

また、旧市営住宅の隣の公園は草が伸び放題の状態だったため、一昨年から地域で整備して、みんなで花を植えて、さらに子どもたちも遊べるようなイベントも行っていて、今週末にも開催します。子どももお年寄りも楽しめるポッ

チャというパラリンピック種目を屋外で行う予定です。

同様に社会福祉協議会と開催している福祉の集いは、例年は食事を伴ったものですが、昨年は即売会として地元農家から提供してもらった野菜類を販売したり、花を販売したり、工夫しながら実施しています。今年度も昨年同様に予定しています。併せて公民館まつりもできる範囲でやろうということで進めております。

#### 【司会】

地域の中でそれぞれアイデアを駆使しながら、イベントを開催していると御紹介がありました。イベントについて、少し市長からお話をいただきたいと思っております。

#### 【市長】

皆様におかれましては、多くの御苦勞の中で地域を支えてくださっていることに対して、改めて御礼を申し上げます。今まで3回にわたり平自連の他ブロックと話し合いをした中で、やはり同じような御意見を持たれる地域がありました。多くの制限の中でイベントを開催して、開催する意義があるのか、と言われた会長もいらっしゃいました。しかしながら、平塚は、各地域にいろいろな歴史や伝統があり、それぞれの地域が特色を持って、素晴らしい活動をしているまちであり、そういう地域が結集して、この平塚の大きな魅力ができていると思っています。コロナがその地域活動に大きな悪影響を及ぼしましたので、徐々に収まりつつある今、平塚の特徴をもう1回取り戻す動きをつけていくことが必要ではないかと考えています。職員にも、どういうふうに安心安全対策をしながら、地域が動き始めるときにどのような応援ができるかを考えるよう指示をしました。会長の皆様には御苦勞をお掛けします。ただし、今の状況で動き始めるのは難しいという声があれば、地域の中でしっかりと話し合い、合意形成をしていただきたいと思っております。

また、ガイドラインについて多くの御意見をいただきました。イベント開催に当たっての安心安全対策のためのガイドラインというものは、子ども大会や地区レクなど各部署からお示しをさせていただいていますが、制限が多く何もできないとのお話もありましたので、この度「地域活動における新型コロナウイルス感染防止対策の留意点」ということで、まとめました。現状ではコロナを無視して動いてもらうわけにはいきませんので、最低限この部分については気を付けてくださいということで感染防止対策等の基本的な考え方、手指等の消毒、換気、食べる物の取り扱いについて、お示しをさせていただきました。

ワクチン接種も対象者の約7割が既に3回目接種を済ませて、4回目の接種券も5月から順次発送しています。徐々に動き始める環境は整いつつあると思っております。連合会長をされている皆様には、大変御苦勞をお掛けしますけれども

ぜひとも、地域のため子どもたちのため、それから平塚市全体の動きのためにどうか今お話ししましたような点に留意をしていただきながら、動きを始めていただければと思います。

**【司会】**

それでは次に、役員の担い手不足について、意見交換を進めていきたいと思っています。現状の取組などがありましたら教えてください。

**【参加者】**

「打つ手無し」が正直なところですよ。60歳を過ぎてもフルタイムで働いている方も多く、若い世代も共働きが当たり前になっています。元気で時間に余裕がある方はなかなか見つかりません。深刻な問題ですので、これから苦勞して取り組まなければいけないと思います。

**【参加者】**

先ほどお話しした三役を1人で兼任している自治会は、会員数が45世帯ぐらいのとても小さい自治会で、新しい人が入ってこない地域性もあると思います。今年度の単位自治会の自治会長8名のうち3名は、フルタイムで働いています。仕事や事情を抱えながら地域の自治会活動をしている方がほとんどです。自治会役員の負担はできるだけ軽減していきたいと常々考えています。大きなネックになっているのは、民生委員や各種団体の委員など自治会推薦という形で、自治会が人探しをしている現状を知っている人は、それを理由に自治会の役員を引き受けてもらえません。それぞれ家庭の事情もあるのですが、やはり役員を引き受けることに高い壁があるように感じています。

**【参加者】**

若い方は両親がフルタイムで働いていて、一方で高齢化も進んでいます。その中間の方も、今は70歳まで働いていますのでなかなか見つかりません。民生委員についても仕事を持っている人もいますが、やはり仕事がない方が、動いていただくと考えると、なかなか見つかりません。当地区は民生委員のOB会がありますので、そちらにお願いをして、何とか当たっていただいています。若い方はお子さんの習い事もたくさんあるようで、そちらにすごく力を入れているように見えます。自治会に入っているメリットは無いと思われてしまうと、役員をお願いしても受けていただけません。なるべく役員の負担は少なくしようと考えていますが、私たちの年代までは、自治会に入っているいろいろなことを教えてもらいたいと考えていましたが、今はあまりそういうものが必要とされていないのかなと感じます。また、高齢者は民生委員にいろいろお願いできるので、自治会に入らなくても困らず、何かあったら民生委員にお願いして、いろいろ解決していただける状況になっています。若い方は自治会に入っていないけれども、不都合を感じてないことが多いので、自治会そのものをどうや

ったら皆さんが協力をしていただけるか、協力していきたい場所にしていかなければと思っています。ただ役員もそう長くは継続しませんし、日々考えていますがやはり難しい問題です。

民生委員も、年齢上限がなくなったため、要支援者と同年齢ぐらいになっています。欠員は避けてくださいと言われるので、動いていただけそうな方をお願いをしましたら、気がついたら同年代だったという感じです。自治会役員や民生委員について、何かこういうシステムがあると動きやすいという改善策や先進事例について、前回のほっとミーティングの時にも行政へお願いをした記憶があるのですが、なかなか難しいのでしょうか。自治会でやるべき部分もあるのかもしれないですが、行政も現状でもやってはいただいています、より積極的に関わってもらわないといけない問題だと思います。

#### 【参加者】

確かに地域での担い手がいなくなっていると感じています。段々と時代が変わってきていると思います。これまで積み重ねてやってきた経過があるのですが、従来と同じように、各地域で役員を選んで、担当してくださいということではなく、地域の役割を減らしながら、専門家である行政の方に役割を担っていただいて、専門的に指導していただくなど、全体を見直さないとなかなか難しいと感じています。ごみ問題もしかりですし、各委員の方もそうです。当地区の子ども会も成り立たなくなってきました。ごみ減量化推進委員と美化推進委員は一緒になれば負担も少ないですが、別々に人を推薦してほしいと依頼があります。全体的に任務、役割を見直して、より専門的に集中をして指導するように考えていただいた方がよいと感じています。

#### 【参加者】

当地区でもなり手不足は深刻です。自治会は、「自ら治める会」ですから、地域の皆さんの協力がないと成り立ちません。また、自治会の活動は、外から見てみると、役員が何をしているのか分かりづらい。自治会の役員もそうした点をよく説明できていないことは、責任を感じています。私も自治会長4年目で、いろいろ取組をしたいと思っていましたが、コロナ禍になって、総会も書面開催がほとんどで、皆さんの顔を見て仕事ができなかったということが大きな誤算でした。自治会の行事は市から補助金をもらっていますが、別に指針が出るわけではないので、小学校の指針や七夕まつりの運営方法をある程度に参考にさせてはもらいますが、最終的には、自治会の判断と工夫です。万全の対策と言っても、できることは消毒と手洗いと距離を確保することくらいです。当地区はいろいろな行事を、以前と比べて100%できないまでも、60～70%の規模で、時間を短くしたり、催し物を工夫したりして、開催する方向で進んでいます。今年は前向きに、次回につながるようにと考えています。



## 【参加者】

民生委員児童委員の改選期がなぜこの時期になったのか疑問に思います。役員を引き受けてもらえる方には、既に他の委員を引き受けてもらっているため、もう頼める人はいない状況です。もう少し早くに依頼していただければ、まだ割り振ることができたと思っています。当地区でも14人の委員がいますが、皆さん高齢です。約半数が退任の意向ですので、今必死で探しています。児童委員はPTA関係をあたって早めに声をかけようと動き始めています。結局、引き受けてくれる人に役職や仕事が集中してしまいます。本当は市で専門職を雇っていただいた方が良くと思います。

また市からいろいろと書類が送られてきますが、会議で聞いた内容が、その日の朝から既に動き始めている内容であったり、既に他の方法で地域への周知が始まっていたりすることがあります。平自連の会議から、連合会内での会議まで半月ぐらいの間隔がありますので、それを見込んで進めてほしいと思います。ごみの問題では急に回収時間が変更になり、大慌てでした。カラスの巣がたくさんある地域なので、自治会予算で急遽ごみボックスをそろえて対応しました。カラス対策は徹底してやらないといけないと思います。

## 【市長】

役員のなり手の問題について「打つ手無し」というお話をいただきました。行政関連の委員についても、自治会地域からの選出をお願いしてきた流れがずっと続いてきたことは確かです。行政としては効率的にお願いをできるような体制をしっかりと作っていかなければならないと、今改めて感じています。組織でしっかりと考えて、対応していきたいと思っています。

また地域が地域づくりをしていく動きの中で、自治会長や役員が動いている姿をしっかりと外から見えるような状況を作っていかななくてはいけないと思っています。そのため、令和2年度のほっとミーティングのあとに、令和3年3月と令和4年1月に広報紙で、地域の活力、あなたの暮らしを支える自治会という特集を組み、自治会の意義、それから活動の例というものをお示しさせていただきました。また改めて取り上げさせていただきながら、自治会の意義をしっかりと発信をしていきたいと思っています。

もう一つの負担軽減については、コロナを契機としたデジタル化の進展によって、動きが出てくるようになりました。おかげさまで、全地区でちいき情報局を開設していただきましたので、地域活動の様子を掲載していただくことで、自治会の活動内容や意義を再認識してもらいながら、若い人にも目を向けてもらうことが必要ではないかと思っています。デジタル化に関する補助も出させていただいておりますので、活用していただき、魅力化を図っていただけますとありがたいなと思っています。また、自治会役員の負担感が増えていますので、

極力、負担を減らし、そして意義のあるお役を務めていただける環境をしっかりと作りたいと思っています。

最後に、ごみの問題など、専門的な仕事については、市の方がもう受け持つべきだろうというお話もいただきました。また繰り返しになりますけども、我々ができることはどういうところなのか。地域づくりの中で、行政として進めていかななくてはいけないものは何なのか、もう1回おさらいをしながら、考えていきたいと思えます。

#### 【司会】

余談になりますけれども、SNSでは、全国から自治会の悩みや新しい取組が発信されています。30代40代のお父さんお母さんが、子どもが活動している様子を動画で見たことをきっかけとして、徐々に地域へ出始めているようです。平塚市ではちいき情報局に動画を上げると皆さんが見てくれるようです。その動画がきっかけで、若い世代を呼び込めるのではないかと思います。

まちづくりやにぎわい創出について、現状や実情は各地域で違うと思えますが、どんな御苦勞があるのか、ということをお皆さんと共有したいと思えます。

#### 【参加者】

人口減少時代に突入した中で、選ばれるまちになることが一番重要だと思います。若い人たちに、平塚はいいね。行政の施策、取組が充実しているね、と思ってもらい、どんどんPRしてもらおうことが、にぎわいの創生に必要なと思います。もちろん市が既に取り組んでいることは重々承知していますが、さらに推進すると良いと思えます。

また繰り返しになりますが、まちづくりに関する法のハードルが高いです。法を超えて市の条例を制定することはできません。条例も議会の議決が必要で、簡単ではないことも理解します。今度、里づくりの委員会の2回目の会議を開催しますが、地元がこうしたい、こうして欲しいといろいろな意見は出ますが、法律や条例のハードルを越えられません。ぜひ市長によろしくお願ひしたいと思えます。

#### 【参加者】

当地区は旧市営住宅の跡地について、人が集まれるような公共的な施設がぜひ欲しいと思っています。近隣に福祉会館がなく、また避難場所となっている小学校も避難者が数十人で満員になる状況です。避難場所としての機能も備えた多目的な会館を作っていただきたいと考えています。現在は、民間へ売却する話も耳にしますが、今はまだ民間から参考意見を聞いている段階と説明を受けています。自治会長をやっていると、皆さんから今後どうなるのかと尋ねられることも多いのですが、よく分かりませんとしか答えられません。適宜、進捗状況を教えてほしいです。

## 【市長】

平塚のまちづくりは、2核1地域として、駅中心の南の核と、現在整備を進めている北の核・ツインシティ地区、これを交通等で結びながら、そして西側の自然豊かな環境を生かす地域を基本的な考え方として、まちづくりを進めています。地域においては、協議会を組織して、まちづくりを検討したり、お祭りを開催したり、どうしたら人を増やしていくことができるかについて、活性化に取り組んでいただきありがとうございます。地域の支え合い仕組みづくり事業に対する県からの補助は今年で終了しますが、市としてしっかりと支援していきたいと思います。市街化調整区域の活性化をどのように図っていくか、どんな取組であれば可能であるか、今しっかりと検討させていただいています。また、県道明石大島線の北への延伸が予定されています。整備が進みますと沿道利用として店舗等が建設できる可能性も考えられますので、そういうことも想定しながら地域の魅力化を図っていきたくて考えています。

次に市営住宅の跡地については、私も職員時代に公民館主事を5年務めましたので、図書館など公共施設の御希望が大きいことは重々承知しています。まだ公的な使い方も含めて検討段階で、現在サウンディング型市場調査として、民間からの利活用案をお聞きしているところです。地域からの御意見も踏まえて検討をさせていただきたいと思います。市全体のお話をさせていただきますと、本市は、人口当たりの公共施設面積が、全国でも高い方です。これから人口減少の時代における公共施設のあり方について、10年後20年後の市民の負担も考慮しないといけないということで、公共施設等総合管理計画を策定して、公共施設を統廃合しながら、10年間で1.5%を縮減する方向で今進めています。その考え方も盛り込みながら、検討させていただきたいと思います。

## 7 市長によるまとめ

今日はお時間いただきありがとうございました。自治会が大変な御苦勞をされていることを改めて認識しました。本来であれば、私が各地域を回ってお話を伺うべきところを、平自連の4ブロックに分けてお話を伺いました。自治会のあり方、ごみの問題などいただいた御指摘は、所管課に伝えて皆様にもう1回フィードバックをするよう指示します。また自治会の存在は本当にありがたいということ、市民の皆様伝えていく取組をしっかりとしていきたいと思っています。また平自連への通知や情報提供が遅いとの御指摘について、もう一度指示を徹底するとともに、地域へお願いしたい内容は各部署でたくさんありますが、皆さんの負担も考慮しながら、検討をさせていただきたいと思っています。引き続き、会長はじめ、役員の皆様には御苦勞をお掛けしますがよろ

しくお願いします。本当に今日はありがとうございました。

以 上